

## 20 温かい言葉を言える人に 作文（小学生）

（ナレーター）皆さん、いかががお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。今日は私、田島芽瑠が小学生の作文を朗読します。

5

「一緒に遊ぼう。」

「大丈夫。」

「すごいね。うまいね。」

10

私のクラスでは、こんなふわふわ言葉がいつも飛び交っています。言われると元気がでるし、うれしくなります。だから私も、困っている人や頑張っている人を見掛けたら、進んで声を掛けるようにしています。

15

だけど、相手が同じクラスの人ではなかったらどうでしょう。学校ではない所で、知らない人が困っているのを見掛けたらどうするのでしょうか。私は、たぶん何も言えないと思います。なぜなら、「嫌な顔をされたらどうしよう。」と考えます。しもうからです。それに、恥ずかしくて知らない人に声を掛ける勇気が出せないと思うからです。

20

道徳の時間に学習したときも、声を掛けられた男の子が「やめろ。僕は一人で上れるぞ。」  
と言いついていました。自分が声を掛けてこんなことを言われたら、悲しくて涙が出るかもしれません。  
「その言い方はひどいよ。」  
と、強く言いついて返すかもしれません。驚いたのは声を掛けたお

25

兄さんの言葉でした。

「ごめんよ坊や。頑張れ。」

声を掛けられた男の子は、誰の助けも借りずに一人で階段を上ろうとしていたのです。そのことに気付いて「ごめんよ。」  
と言えろお兄さんは、心の温かい人だと思いました。

30

相手の立場に立って考え声掛けをするのは難しいけれど、大切なことだと思いました。「頑張れ。」や「ごめんね。」という温かい言葉を、友達にも知らない人にも掛けられる人にもなりたいです。

35

（ナレーター）いかがでしたか。道徳の学習に出てくるお兄さんは、せっかく声を掛けたのに、男の子から言い返されていきました。でも、相手に腹を立てるのではなく、「ごめんよ坊や。頑張れ。」とあやまり、励ましていました。自分もこのお兄さんのように温かい言葉を言える人になりたい、と思う小学生の優しい気持ち伝わってくる作文でしたね。

40